

平成28年度 事業報告

平成28年度においては、定款に定める地球環境の保全に資することを目的として、「森林の保全活動の推進」や、「木材加工技術の調査研究」、木育活動などを主体とした「森林育成のための啓蒙活動」などを実施しました。

1 森林保全育成事業

アセアン地域からは、かつて原木を輸入して合板製造を行うなど大きな恩恵を受けており、こうしたことに対する謝恩の念から、アセアン地域での人づくりに対して継続して支援を行った。

(1) 奨学金支給事業

(支給対象) インドネシア国内6大学の林学部4年生80名に支給

- ・ボゴール農科大学 20名
- ・ガジャマタ大学 15名
- ・ムラワルマン大学 15名
- ・ハサヌディン大学 10名
- ・パプア州立大学 10名
- ・タンジュンプラ大学 10名

(支給額) 学生1人当たり 37,500円(年額)

(選考方法) 各大学で募集し、選考委員会で書類審査、面接のうえ決定

(2) 研究機関に対する研究助成事業

(助成対象) インドネシア国内2大学の農林学部教官から提案のあった研究事業の中から、1課題を選考し助成

(助成額) 300,000円を助成

(助成対象事業の概要)

(研究タイトル)

製材工程で発生する残材、鋸屑等から製造した木材ペレットの物理的特性に関する研究

(研究者)

Mrs. Muliana Arifudin and Sahlan Walay(パプア州立大学)

2 木材加工技術の調査研究

日中の林業技術者が技術交流の観点から、国産材及び海外植林木等の木材加工利用と合板等の製造技術の習得のための調査研究事業に対して、支援を行った。

(1) 木材加工技術調査事業

(事業概要)

・平成28年10月3日～4日の2日間、臨沂三澤木業公司の若手技術者4名が日新本社(境港市)及びミサワ岡山工場で木材加工技術研修を実施

・平成28年10月26日～29日の4日間、日新グループ若手職員6名が、中国・臨沂三澤木業公司において、木材加工技術研修を実施

(支援内容) 派遣経費等の一部を支援

3 森林育成啓蒙事業

森林の育成を図るため、こどもをはじめとするすべての人が木材に対する親しみ、木の文化への理解を深めるための様々な啓蒙活動を促進する。

(1) 山下名誉教授が指導する「木育」事業への支援

木育活動の第一人者として知られる山下晃功・島根大学名誉教授が指導する次の「木育」事業を支援することで、森林の育成に向けた啓蒙を図った。

① 島根県中学校ものづくり競技大会への支援

(事業概要)

第14回島根県中学生ものづくり競技大会が、平成28年8月19日に松江市で開催され、木工技術部門では、県下4中学校から8名が参加

(支援内容)

開催経費の一部を支援したするとともに、田部謝恩財団・特別賞を設け表彰(安来市立広瀬中学校：櫛田晴行君)を行った。

② 第17回全国中学校・創造ものづくり教育フェアへの支援

(事業概要)

平成29年1月に東京で第17回全国中学校・創造ものづくり教育フェア(木工チャレンジコンテスト部門)が開催され、予選を勝ち抜いた中学生が参加

(支援内容)

開催経費の一部を支援するとともに、田部謝恩財団特別賞を設け、表彰(浜松市立中学校 白井雄也君)行った。

③ 幼稚園等の教育施設での木育のための啓蒙事業

(事業概要)

琴浦町立浦安小学校、愛恵保育園(松江市東津田)、出雲市立大津幼稚園において、大型ロボ木―と木育絵本を使用して木育のための啓蒙事業を実施

(支援内容)

大型ロボ木―と木育絵本の贈呈支援

④ 第4回全国合板1枚・作品コンペへの応募作品の製作に向けた支援、幼稚園等に贈呈する大型ロボ木―の製作支援

(支援内容)

全国合板1枚・製作コンペへの応募作品の製作に向けた材料費の支援及び大型ロボ木―製作のための経費等を支援

⑤ 出雲科学館での木育事業の推進

(事業概要)

出雲科学館が市民を対象に開催する木工教室や木育研修の実施、木のおもちゃの材料・製品の購入などを実施

(支援内容)

木工教室や木育研修の実施に要する経費、木のおもちゃの材料・製品の購

入に要する経費の一部を支援

(2) 第4回全国合板1枚・作品コンペへの支援

(事業概要)

山下晃功・島根大学名誉教授の提案により島根の地で発祥した「全国合板1枚・作品コンペ」は、平成26年度からは全国規模の大会として東京で開催されている。

平成28年度も作品書類による1次審査、更には作品の実物による2次審査を経て優秀作品を決定のうえ表彰

(支援内容)

平成28年の第4回大会を成功させ事業の普及定着を図るため、開催経費の一部を支援

(3) 木育推進のためのテレビ番組の放映

(事業概要)

木育を推進するため、県内で取り組まれた「幼稚園・小学校の木育活動」「しまねウッドフェア2016」「邑南町のウッドスタート宣言」

「山の日」の取組などをテーマとして特別番組を製作し放映

(平成29年1月22日(日)8:30～9:00山陰中央テレビジョン放送)

(支援内容)

番組の製作経費及び放送経費を負担

(4) 山のおかげSUMMER in 吉田への支援

(事業概要)

平成28年から8月11日が祝日・山の日として制定された。長きにわたり地域との関わりの中で山林業を営む(株)田部では、これを一つの契機として、緑豊かな雲南市の山林を楽しむ体験できるイベント(山のおかげSUMMER in 吉田)実施した。

実施日：平成28年8月11日(木)8:00～15:00

会場：雲南市吉田町

栃山登山、菅谷川自然観察ウォーク、林業体験

参加者：82名の親子

(支援内容)

山に親しみ、山の恩恵に感謝するという祝日・山の日制定趣旨に合致する取り組みであり、開催経費の一部を支援

4 広報事業

財団事業を広く情報発信するため、財団ホームページを維持管理するとともに、情報内容を更新

収 支 計 算 書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I. 収 入 の 部		
1. 基本財産運用収入	10,063,489	
預金利息収入	63,489	定期・普通預金利息
基本財産取崩収入	10,000,000	平成28年度分
2. 寄付金収入		
寄 付 金 収 入		
3. 補助金等収入		
助 成 金 収 入		
当期収入合計	10,063,489	
前期繰越収支差額	1,138,431	
収 入 合 計	11,201,920	
II. 支 出 の 部		
1. 事 業 費	7,306,815	
(1)森林保全育成事業	3,300,000	
奨学金支給事業費	3,000,000	インドネシア6大学 80名分
研究助成事業費	300,000	海外1件 研究助成金
(2)木材加工技術調査研究事業	1,000,000	
木材加工技術調査費	1,000,000	中国研修事業助成金
(3)木育推進事業	2,957,633	
山下先生指導の木育事業	1,192,765	山下先生指導の木育事業、中学生ものづくり競技会、出雲科学館木工教室
合板1枚作品コンペ事業	434,868	全国合板1枚・作品コンペ支援
木育テレビ番組制作事業	1,080,000	TSK木育特別番組制作・放送費
山の日イベント協賛事業	250,000	「山のおかげ SUMMER in 吉田」支援費
(4)広報事業	49,182	
広報事業費	49,182	財団HP更新・管理費、財団だより代
2. 管 理 費	2,563,584	
事務代行料	2,370,000	H28年4月～H29年3月分
支払手数料	25,532	振込手数料他
会 議 費	98,213	理事会、評議員会費用
租 税 公 課	20,321	印紙税、預金利息源泉所得税
旅 費 交 通 費	7,144	ガソリン代、高速料金代
慶 弔 費	5,140	弔電代
雑 費	37,234	役員変更登記手続報酬他
支 出 合 計	9,870,399	
当期収支差額	193,090	
固定資産除却損	0	
次期繰越収支差額	1,331,521	

正味財産増減計算書及び内訳書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

科 目	合 計 (単位：円)	実施事業等 会計	法人会計	内部取 引消去
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 雑収益				
定期・普通預金利息	63,489		63,489	
経常収益計 (A)	63,489	0	63,489	0
(2) 経常費用				
① 事業費				
奨学金支給事業	3,000,000	3,000,000		
研究助成事業	300,000	300,000		
木材加工技術調査	1,000,000	1,000,000		
木育推進事業	2,957,633	2,957,633		
広報事業	49,182	49,182		
事業費計	7,306,815	7,306,815	0	
② 管理費				
役員報酬				
給料手当 ※1	1,896,000	1,516,000	380,000	
会議費	98,213		98,213	
旅費交通費	7,144	7,144		
賃借料	474,000		474,000	
租税公課費	20,321	20,321		
委託費	37,234		37,234	
支払手数料	25,532	25,532		
雑費	5,140		5,140	
管理費計	2,563,584	1,568,997	994,587	
経常費用計 (B)	9,870,399	8,875,812	994,587	
評価損益等調整前当期経常増減額 (A) - (B)	△ 9,806,910	△ 8,875,812	△ 931,098	
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	△ 9,806,910	△ 8,875,812	△ 931,098	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 9,806,910	△ 8,875,812	△ 931,098	
一般正味財産期首残高	256,138,431			
一般正味財産期末残高	246,331,521			
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	246,331,521			

※1 給料手当は、公益目的事業80%、法人会計20%にて配賦した
管理費は、公益目的事業に直接関係ないものを法人会計で負担

貸 借 対 照 表

(平成29年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産 現 金 預 金 定 期 預 金	246,331,521 1,331,521 245,000,000	流 動 負 債 負 債 合 計	0 0
		正 味 財 産 の 部	
固 定 資 産	0	正 味 財 産 (うち基本金) (当期正味財産減少額)	246,331,521 (245,000,000) (△ 9,806,910)
資 産 合 計	246,331,521	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	246,331,521